大垣信金25%増益 3月期

大垣信用金庫(大垣市恵比寿町、栗田順公理事長)が25日発表した2015年3月期決算は、貸出金利の低下で資金運用収益は減少したが、与信関係費用が減り、純利益は11億4900万円(前期比25・0%増)の増益となった。

損益面では、預金貸出金収支は40億8200万円(5・6%減)。経常収益は86億9800万円(1・2%増)となった。貸倒引当金戻し入れなど不良債権処理額が大幅減少、経常利益は24・3%増の17億800万円となった。期末預金残高は2・5%増の5218億18００万円。期末貸出金残高は設備案件の減少や貸出競争の激化で、0・3%減の2592億8400万円となった。自己資本比率は0・25ポイント上昇し12・82%。

無断複製・転載を禁じます